


英語を楽しく

☆ 「with」 って、いつも隣と仲良し

「with」は「いっしょに」と訳されることが多いのですが、まさにその通り、「いっしょに」いる = 「仲良し」

write 

★ with の前の単語と常に関わりを持つ

Few students write with a pencil.

鉛筆で→書く [鉛筆と書く行為は一体化]

He likes girls with long hair.

長い髪を持つ (長い髪の) →女の子 [長い髪と女の子は切り離せない]

It's impolite to talk with food in your mouth.

食べ物と話す行為が口の中で (in your mouth) 同時進行化

impolite 無作法な・無礼な・ぶしつけな

○ 以上のことを踏まえて以下の英文の訳を考えましょう。

「私は、彼の宿題を手伝いました。」そこで、まず、①の問題です。

① 私は を手伝いました。

□に入るのは a) him それとも b) his homework ですか?

正解は、 a ですね。手伝って助けてもらうのは 人間 (he) ですね。宿題は生きて
いるものではありませんので、手伝う・助けるの対象になりません。

そこで、

I helped him(目的格) という文ができます。次に「彼と切り離せないものは

「宿題」ですね。ですから him with homework (彼の宿題)となり、

I helped him with home work.

の文ができます。

このような文では① 誰を(何を)助けたかを正しく判断

② 「彼の宿題」を「彼が 抱えている・共にある」と考えること

「彼の宿題」を「his home work」を考えると、

I helped his homework. 「私は彼の宿題で助けました。」となり、意味不明な文になりますね。



X talk



X eat

with

! homework

I help

